

R 5 学校評価（中間）のまとめ

I. 自らの命を守り抜く安全・防災・健康教育

- ・ほとんどの生徒が学校の集団生活のルールやマナーを守っている（生徒肯定的評価 96%）。
- ・交通安全に気をつけている（保護者肯定的評価 94%）との回答が多いが、特に自転車の利用についてはルールやマナーが守れていない場合が見られる。引き続き家庭でも指導をお願いしたい。
- ・家庭でも規則正しい生活について指導をしてもらっているが、聞かない場合もあるかもしれない。
- ・学校の環境整備については優先順位を決めて進めていく。

II. 誇りを感じる学校・学級集団

- ・楽しく学校生活が送れている（生徒肯定的評価 94%）、楽しく学校に行っている（保護者肯定的評価 90%）は大変うれしい数字である。しかし、そうではない回答もあるので、悩みや困ったことは相談できるようにして、より良い学校生活が送れるようにこれからも取り組みたい。
- ・相談できる友だちがいる（生徒肯定的評価 92%）や、いじめ防止に取り組む生徒会の活動に主体的に取り組んでいる（生徒肯定的評価 92%）こともうれしい結果である。
- ・部活動やクラブチームの活動にも多くが意欲的に取り組んでいる。（保護者肯定的評価 87%）

III. 存在感や成就感を大切にしたい生徒指導

- ・いじめについては絶対に許されないと考えている生徒がほとんど（生徒肯定的評価 96%）であり、見たり聞いたりした場合に「相談する」割合も高い（生徒肯定的評価 91%、保護者肯定的評価 73%）。早期解決に向けての対応も理解していただいていると思われるが、これからは早期発見、早期解決に努めていく。
- ・生徒や保護者の悩みや思い等についてはこれからは親身になって聞いていく（生徒肯定的評価 92%、保護者肯定的評価 75%）。
- ・情報機器の使い方についてはルールを守っている生徒が 86%、守らせている保護者が 72%（いずれも肯定的評価の合計）である。インターネットの適正な使い方に関しては犯罪に巻き込まれたり加害者になったりする例が全国でたくさん見られるので、学校での指導と合わせて、家庭でも十分に注意をしていただきたい。

IV. 豊かな人間性・社会性を育む道徳教育、人権教育

- ・道徳の時間には自分を見つめて振りかえっている様子が見られる（生徒肯定的評価 95%）が、自分の考えを言葉で表現し、人と交流するのは少し苦手かもしれない。

V. 将来や社会の糸口をつかむキャリア教育

- ・自尊感情はもう少し高めていきたい。
- ・生徒はふるさと篠山の良さはよく知っている（生徒肯定的評価 91%、保護者肯定的評価 74%）。

VI. 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

- ・予習や復習等の家庭学習に取り組む率はやや低い（生徒肯定的評価 66%、保護者肯定的評価 50%）。
- ・疑問を先生に尋ねて解決している割合が低い（生徒肯定的評価 68%）ので、理解度を確認して授業を進める必要がある。
- ・授業が楽しく分かりやすいという回答は多い（生徒肯定的評価 85%）。他の項目の結果と合わせて、これからは授業改善に努めていく。

VII. 支え愛に満ちた活気あるコミュニティ・スクール

- ・あいさつについては良くできている（生徒肯定的評価 90%、保護者肯定的評価 81%）。
- ・家庭内でのしつけや対話ができていく割合も高いので、これからは学校の様子を発信していきながら、保護者や地域との連携を強めていく。

その他、自由意見について

- ・生徒指導については、学校と保護者が同じ方向で指導に当たることが大切だと考えています。互いの思いなどを確認しながら、生徒にとってプラスになる指導となるように努めていきます。
- ・ホームページは週に 1～2 回の更新としています。
- ・部活動については生徒の減少とそれに伴う教員数の減少、合同チーム、地域移行など課題が多く出てきて過渡期でもあります。部活動の意義をふまえ、生徒の活動の場を保障しながらも、教育課程外の活動に教員がほぼボランティアの状態で行っていることもご理解ください。
- ・駐車場は特に送迎時に、時計回りの一方通行での利用をお願いしています。安全確保にご協力ください。